

新年を迎えるにあたって

奈良県支部 支部長 植村信吉

あけましておめでとうございます。

旧年中は会員各位を始め、関係機関皆様方の格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで本会は7回目の新年を迎えることができました。

いつどこで災害がおこっても不思議でないと言われる今日、昨年も広島市での土砂災害や御嶽山の突然の噴火など、多くの尊い人命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたします。

災害が起こるたびに、自然の力の前には人間の力がいかに無力であるのかを痛感しておりますが、防災士として、これまでの活動を再度見つめ直しながら、今後も地域の防災活動を進めて行く事が求められていると考えております。特に、近々起こると言われて久しい南海トラフ地震に備える事は重要であり、専門家が警鐘を鳴らす南海トラフ地震前後に起こりえる活断層型地震にも備えなければなりません。

どんな災害が起こるのかは地域によって違うのです。自分の地域を知り、町や人を知らないと災害には備えられません。幸いにして昨年は、奈良県知事から「第5回あしたのなら表彰」を受けることができました。私も防災士会奈良県支部の活動が県下で認められてきたということでしょうか。共に喜びあいたいものです。

支部会員の皆さまにおかれましても、これにおごることなく目の前の課題の一つひとつ着実に取り組んでいく一層の努力と、防災士の使命を果たされんことを心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

どうか今年もよろしく願いいたします。



支部活動報告

■ 支部研修会の開催

平成26年11月16日(日)奈良市防災センターにおいて、日本防災士会奈良県支部研修会が行われ、支部の防災士61名が参加しました。植村支部長からのNPO法人化に向けての説明と、奈良地方気象台の小野防災気象官による避難所開設時の注意点などに関する講演が行われました。



奈良地方気象台、小野防災気象官による講演
(支部研修会)

■ 「ならボランティアフェスタ2014」への出展

平成26年11月29日、橿原市奈良県社会福祉総合センターにおいて、「ならボランティアフェスタ2014」が開催され400名の参加者が合唱やバトン、寸劇や屋台、県内各ボランティア団体の体験を楽しみました。支部から植村



応急手当の講習(心肺蘇生法、三角巾)
(ならボランティアフェスタ2014)

支部長、奥田英人、高岡宏芳、松尾修、岩野祥子、北村厚司、平井紳二、柏田勝幸、高木忠雄、杵島良仁、大北容子、村山央、各防災士が参加し、防災グッズの展示、あっぱくん、三角巾の使用法の講習を行いました。

「第5回あしたのなら表彰」（知事表彰）を受賞しました

橿原文化会館（小ホール） 平成26年12月6日（日）

奈良県で、分野・経験年数を問わず、奈良のPRや魅力向上に寄与する活動、地域での社会貢献など、県民に元気や感動を与える活動を行っている個人または団体に与えられる「あしたのなら表彰」（奈良県知事表彰）に私ども日本防災士会奈良県支部が選ばれました。

支部結成以来、県下自治体防災訓練への参加・協力、各地区自治会及び自主防災会活動への支援・講師派遣等、地域防災力向上への活動が社会的に認められたものであり、会員一人ひとりの活動の成果と言えるでしょう。

今後の活動への大きな励みとなります。共に喜びあいたいと思います。また、これにおごることなく、個々のスキルアップに励みながら支部会員相互のネットワークをより緊密にしながら、県下での地域防災力の向上を目指して取り組みを進めていきたいと考えます。

防災士の理念と役割でもある地域防災活動の中心を担うという活動を、一步ずつ確実に進めて行きましょう。
(支部長 植村信吉)



「JR西日本あんしん社会財団」公募助成事業

この助成事業は、平成17年4月25日に発生した福知山線列車事故を契機に、「安全で安心できる社会」の実現を目指し、それに寄与する様々な活動・研究に対し、JR西日本が全額出資で行っているものです。

奈良県支部は、平成26年度の活動助成に応募し、助成金として70万円をいただきました。これまでに、助成テーマ「地域防災力を高める避難所開設・運営訓練の支援活動」に基づき、訓練器材の購入や避難所運営訓練の活動支援などを実施しています。これまでの活動実績を報告します。

- 普通救命講習終了者数 6回 計183人
- 避難所運営訓練「HUG」 11回 計420人
- CPRトレーニングBOX「あっぱくん」 3回 計335人
- 家具の転倒防止 2回 計85人
- 避難所開設・運営訓練 7回 計1,686人
- 避難所宿泊体験訓練 1回 計180人
- 防災訓練 1回 計300人
- その他・防災研修会など 5回 計239人



講師派遣

田原本町西八尾防災訓練



平成26年11月23日、田原本町西八尾公民館において第3回西八尾防災総合訓練が行われ、約200名の参加がありました。災害状況報告、要支援者避難、初期消火、倒壊現場からの救助、給水体験、炊き出し、三角巾、AED、耐震診断、消火器交換など多彩な訓練が行われました。支部から、植村支部長、柏田勝幸、高木忠雄、松尾修、高岡宏芳、板垣伴之、村山央各防災士が参加し、あっぱくんを使ったAED体験、三角巾の使用法を講習しました。
(村山央 防災士)

311から3年半、被災地の今 ～宮城県東松島市～

2011年311日に発生した東日本大震災以降、宮城県東松島市に足を運び、手伝いながら、復興の経過を見てきました。去る9月26-28日に訪れたときの様子を報告します。

■ 集団移転地での住宅建築工事

私見ですが、東松島市はわりと順調に復興が進んでいると感じます。311から1年間は月に1回から数回、それ以降はひと月から3か月に1度程度、東松島市を訪れていますが、行くたびに、ゆっくりとではあるけれども、確実に復興に向かっていていると感じます。

福島原発の周辺地域へも、年に1～2度は出かけます。訪れる頻度が少ない分、前回訪れたときからの変化を感じてもいいはずなのに、実際には「何も変わっていない」という印象を受けることの方が多く、宮城県と福島県の違いを実感します。

今回、市内の数か所で目に留まったのが、集団移転地での住宅の建築工事が始まっていたことです。右上の写真は、宮戸の大浜地区です。6月に宅地造成が終了し、現在は住宅の建築工事に移っています。

右下の写真は、同じく、市中心部に近い、牛網地区の集団移転地です。



宮城県東松島市内の集団移転地（宮戸の大浜地区）



宮城県東松島市内の集団移転地（牛網地区）

■ 生活復興支援センターの活動



東松島市生活復興支援センターの渡邊さん

東松島へ行くたびに訪れるのが、「東松島市生活復興支援センター」です。ここは、震災発生から約5カ月の間は、「東松島市災害ボランティアセンター」として、泥出しや災害ゴミの撤去など、被災者と支援者のマッチングを行っていました。片付けがひと段落して以降は、仮設住宅で暮らす人たちのサポートや、失った仕事や家を今後どうしていくかなど、生活を立て直すために必要な幅広い支援をするための「生活復興支援センター」へと活動の幅を広げました。

東松島市では、「生活復興支援センターは仮設避難者を見る」「東松島復興協議会（東松島市で活動する全国のボランティア団体やNPO・NGOが連携して活動を行うためのネットワーク）は在宅避難者を見る」というすみわけの元、復興に取り組んできました。わたしたちは在宅避難者から直接ニーズを聞きとりながら活動してきたため、仮設の人たちの様子や、行政の動きはほとんどわかりませんでした。そこで、東松島に来るたびに、生活復興支援センターを訪ねて、仮設避難者（現在は災害公営住宅への入居者も含む）の様子や、行政の取り組みについて、話を聞かせてもらっています。

話を聞く中で、震災から2年目となる去年あたりから、生活復興支援センターの役割のひとつに、災害を経験していない自治体への経験の共有と、災害への備えについての啓蒙活動が加わったように思います。今回訪れたときには、子ども向けのHUG（避難所運営ゲーム）の資料などを見せていただくことができました。

「被災者自身も、数年たてば経験を忘れてしまう。今後は、災害を経験していない子どもも増えていく。被災地域の中で、今回の教訓を将来に生かしていかなければ意味がない」と渡邊さんは話していました。今後は、地域の人に対し、また、災害を経験していないよその地域の人に対し、東松島市が経験したことを伝えていく活動を、より積極的に行っていくとのことでした。

（岩野祥子 防災士）

NPO法人化に向けて

奈良県支部ではNPO法人化への準備を進めています。

一昨年支部総会で「NPO法人化への協議の開始」、今年度の総会では「NPO法人化を進める」と提案しました。総会での提案を受け、本年10月15日に開催された役員会に県協働推進課を招き、「NPO法人とは?」「NPO法人化のメリットは?デメリットは?」を課題に研修を行いました。続いて、11月16日には同じ内容で、支部会員を対象に研修会を開催しました。

現在、支部の活動は多岐に渡っていますが、社会的にはあくまで任意団体です。会員数も300名に迫ろうとしており、これまでの組織形態では限界です。今後の活動をより充実させて行くためにも、NPO法人化が求められていると考えています。NPO法人化には、支部規約が定款に替わる、会員の定義をどうするのかなど、様々な準備が必要となります。NPO法人化へのご意見などお聞かせ下さい。

来年度の総会に図るべく準備を進めていきますので会員各位のご協力をお願いいたします。

奈良県支部のベストができました

左胸に「奈良県支部」の名称を入れた、奈良県支部のベストができました。価格は2,500円(税込)です。「NPO法人 日本防災士会」の頒布ベストよりお得にご購入いただけます。ぜひご利用ください。

現在、支払方法や振込口座などを準備中です。確定し次第、奈良県支部のウェブサイトでご案内いたします。



着用例：サイズ F(L) (身長 160cm)

- 頒布価格 2,500円(税込)
- カラー 緑(1色)
- サイズ F(L)、XL、XXL(3サイズ)

サイズ	F(L)	XL	XXL
着丈	69	72	75
身幅	56	59	62

(単位：cm)

事務局からのお知らせ

奈良県支部のウェブサイトがリニューアルしました。イベントのお知らせや、活動報告は、bousainara.com でチェック!

奈良県支部のウェブサイトで、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしています。→ bousainara.com/notice/

スキルアップのための見学が可能です。見学を希望される支部登録防災士は、「連絡先」に記載のある担当防災士に連絡の上、ご参加ください。なお、希望者多数などにより参加できない場合もございます。

投稿記事募集!

支部会員のみなさまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。県支部のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

- 送り先 mail@bousainara.com
- テキストおよび写真(肖像権など差支えないもの)をお送りください。



奈良県支部のFacebookをスタートしました!さまざまな情報をアップしていきます。「いいね!」をよろしくお祈りします。

<http://www.facebook.com/bousainara>

- 発行日 2015年1月1日
- 発行者 日本防災士会奈良県支部 支部長 植村信吉
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬1-5
- 編集 日本防災士会奈良県支部 広報部会

- E-mail mail@bousainara.com
- TEL 090-4902-0901
- ウェブサイト <http://bousainara.com>
- facebook <https://www.facebook.com/bousainara>